



# 本町の特産品「吉野梨」の被害対策は!?

## 松田達之 議員

### 吉野梨の長雨・晩霜

### 黒星病の被害対策は

**議員** 吉野梨の長雨・晩霜・黒星病の被害状況はどの程度か。

**農業振興課長** 平成22年にも新高を中心に被害がありました。今年も3月下旬に晩霜により、花に影響がありました。さらに、その後の長雨による天候不順で交配不良により着果が悪くなり、大きな被害が出ています。

5年前は、「新高」が被害を受けました。今回は、「新高」を中心に「幸水」、「豊水」、「秋月」など他品種による被害が見込まれ、今後の状況次第では前回よりも被害が多いのではと予想され、大変心配しています。

**議員** 被害に対して町はどのように取り組む予定なのか。被害農家への補償等は、どうするのか。

**農業振興課長** 担当課として現地へ10回ほど出向き、JAと県と一緒に調査を行いました。また、梨の被害相談窓口を設置し、被害農家の要望をお聞きすることにしています。

補償等については、セーフティネットの利子補給と、防除の農薬代の一部補助を検討しております。農業共済掛金については、町単独で支援しており、今年度から45%から50%へ増額したところですが、町民税の減免につきましても、平成22年度同様の対応を行うこととしています。

### できる限りの支援を進める

**町長** 大変心配しているところですが、町としてできる限りのご支援を今後も進めてまいりたいと思っています。

**議員** 私も吉野地区の圃場30力所余りを見にいきました。谷になっているところに、被害があっている状態です。

それから、「梨マラソン大会」がありますから、心配していましたが、部会に確認したところ、大会用の梨は、「確保していきますよ」ということでしたが、

**町長** 農家の方々のことを心配され、現地も確認されたということで敬意を表します。梨マラソン大会につき

### まちづくり振興会の管理運営方針について

**議員** 「まちづくり振興会」の管理運営方針について質問します。振興会が管理運営している施設の平成26年度の収支赤字部門の今後の対応方針は、どのように考えておられるか。

### 2600万円の黒字

**農業振興課長** 最終的には2600万7,000円の黒字になりました。「レストラン」の売上は

前年度比5%ほど伸びていますが、人件費等を差し引きますと利益が出ない部門です。「氷川のしずく」に

しましては、売り上げは前年度比15%、金額で340万円伸びています。昨年からは、新鮮野菜、果物等の種類や量を増やしたため売り上げが伸びました。

まして、「梨部会」としても応援をしていきますよ」という、ご意見をいただき大変安心していきます。

### 雇用を生み出し、地域に貢献している

**町長** 物産館や会社の目的は何かということですが、地域や農家、商工業のみならずの所得向上のために6億円弱の売り上げを果たしているわけです。併せて、30数名の雇用も生み出し、まちづくり振興会としての役割を果たしていると思えます。

**議員** 平成25年の視察研修で、栃木県茂木町の物産館「もてぎプラザ」に町長も同行されました。茂木の町長は、「1、2年様子を見て赤字を出せばやめる」という話でした。そのところは、どうですか。

**町長** 赤字だからやめてしまうというよりも、赤字を少しでも減らして、生産者や出荷者のみなさんに還元できるような形を作り上げていきたい。寛大に見守っていただければと思います。

### 「氷川のしずく」や「レストラン」の問題解決を...

**議員** 「氷川のしずく」